

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年6月28日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年6月28日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【固体廃棄物貯蔵庫第9棟 空調設備冷却器の不具合について】 当社社員が、固体廃棄物貯蔵庫第9棟の動力制御盤において、空調設備冷却器の故障表示を確認。調査の結果、空調設備冷却器1台が温度センサー異常により停止していたことを確認。空調設備冷却器は他に9台が運転可能で、運用に問題なし。 今後、温度センサーを交換予定。	GⅢ	6月22日
2	【既設淡水化装置(RO3-4)の高圧ポンプ油抜き閉止プラグからのにじみについて】 協力企業作業員が、停止中の既設淡水化装置(RO3-4)の高圧ポンプ潤滑油交換作業の際、油抜き閉止用プラグからのにじみを確認。床面への滴下はなし。 今後、修理を実施予定。	GⅢ	6月23日
3	【Yゾーンにおける静電防止長靴使用の未申請について】 協力企業作業員が、燃料配達のため構内給油所からYゾーンへ入域した際、当社放射線管理員よりY靴に履き替えず作業していたと指摘を受けた。 その後、協力企業作業員は、Gゾーン用の静電防止長靴から同色のYゾーン用の静電防止長靴に履き替えていることが確認された。 しかし、調査したところ、構内給油所では燃料油を取り扱うことから、所定のG靴ではなくGゾーン用の静電防止長靴の使用許可を得ていたものの、Yゾーン用の静電防止長靴は使用許可を得ていないことが判明した。 原因は、協力企業作業員が、Yゾーン用の静電防止長靴が使用許可を得ていないことに気が付かず装着していたことによるもの。 今後、原因の深掘りと再発防止対策を検討。	GⅢ	6月23日
4	【弁操作中における協力企業作業員の負傷について】 協力企業作業員が、雨水回収タンクBからの散水準備で弁の「開」操作を行ったところ、ハンドルが固く力を入れた際、急にハンドルが「開」側へ動いたため、ハンドルから左手が外れ、近傍のタンク側面に指をぶつけ負傷。 救急医療室にて左示指打撲挫創と診断され、レントゲン撮影、消毒、軟膏塗布の処置を受ける。 今後、再発防止対策を検討。	GⅢ	6月23日